



福島中だより

令和 7 年 度
福島中学校学校通信
4 月 28 日 (月)
第 1 号

【重点教育目標】認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒の育成 (3年目)

【生徒会スローガン】日 笑 (にっしょう)

令和 7 年度の始まりにあたって

校長 助 川 剛

令和 7 年度始業式、入学式から 3 週間が経ちました。初日から全校生徒が揃い、幸先の良いスタートを切ることができています。

年度初めの学校だよりということで、始業式、入学式で生徒へ話した内容から、新年度の教育の重点についてお伝えしたいと思います。

始業式で、これからの 1 年間で意識してほしいこと 3 点について話しました。

1 つ目は「やるべきことをやるべき時にする」です。厳しく難しく聞こえるかもしれませんが、毎日の授業をうけ、宿題、家庭学習に取り組み、行事などの教育活動に一生懸命取り組むという意味です。部活動も同じです。やり残しを重ねると学力、体力などすべての力はつかないし、自分に自信を持つことはできません。「やるべきことをやるべき時に」することで、自信をつけ成長してほしいと伝えました。2 つ目は「自主的に」行動するです。自分で考えて、自分で進んで取り組むことで、学習等の成果の質も向上し、達成感、充実感を高めることができます。自分から朝の挨拶をする、自分で考えて家庭学習に取り組むことから始め、日々の主人公を自分にしていこうと伝えました。3 つ目は卒業式で「有終の美を飾る」を大きな目標とし、学校生活を過ごしてほしいと伝えました。昨年度の卒業式も凛とした雰囲気の中で行われ、卒業生、在校生共に立派で来賓、保護者共にとても良い式だったと評価していただきました。「やるべきことをやるべき時に」して充実した日々を過ごし、にじみ出る雰囲気と態度で心を動かして、今年度も卒業式で「有終の美」を飾ろうと伝えました。

入学式では新入生に、この三年間で身につけてほしい力について話しました。それは「自分の未来を切り拓く力」です。これからの社会は、状況、価値観がとても早く変化することが予想されています。現在でも今まであった職業がなくなり、なかった職業がどんどん出てきています。そのような近い未来の社会では、自分で考え、自分の良さを生かせるための力が必要です。「未来を切り拓く力」は、「やるべきことをやるべき時に」すれば身につく力です。日々の授業、行事、教育活動に一生懸命取り組めば、基礎的な学力、体力、考える力、判断する力、表現し人に伝える力が身に付きます。それが「未来を切り拓く力」となります。中学校の授業、行事、教育活動に一生懸命に取り組む、「未来を切り拓く力」をクラスメート、先生方と共に身につけていこうと伝えました。

令和 7 年度は、生徒を主人公とした授業、教育活動を実践し、やるべきことをやるべき時にする、自主的に行動する習慣を身に付けさせ、未来を切り拓く力を育んでいきます。今年度も本校の教育活動へのより一層のご理解・ご支援をお願いいたします。

転入された先生方



函館市立南茅部中学校より赴任しました教頭の鳴海 清英と申します。

母校である福島中学校に赴任できたことを、心から嬉しく感じると同時に、身の引き締まる思いです。教頭として生徒たちのために尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



この度、函館市立北美原小学校から赴任いたしました尾山 遥介と申します。

2 年間小学校で勤務し、今年度から新採用として福島中学校に参りました。生徒の皆さんと共に、楽しく学び、成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度より、月行事予定表を安心メールで配信いたします。また、学校行事等の写真は、ホームページをご覧ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。